

最小かつ最強。

MC-104CW

0.995t × 1.1m

全幅600mmのスリムなボディで狭小現場への進入もスムーズ。しかも大きな作業半径と全自動ブーム採用によりスピーディで余裕のあるクレーン作業を実現しました。



かにクレーン



- 油圧走行 無段変速
- ハイバライゾン 誤操作防止
- 5角形ブーム 全自動4段
- クレーン容量 0.995
- 格納時全幅 600
- アウトリガ 操作スイッチ

■ スリムなボディで油圧走行

格納状態の全幅が600mmと大変コンパクトなため、狭小現場への進入や取り回しが容易です。



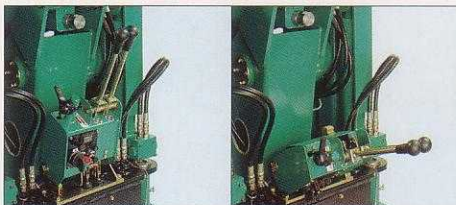
■ 自由自在の張出しパターン

アウトリガの接地ポジションが自由に設定できるため、凹凸のある現場でも安定したクレーン作業が可能です。



■ 安全設計で誤操作を防止

走行レバースタンドを走行位置にセットすることにより、クレーン回路が防御されます。従って、走行時のクレーン操作レバーの接触による誤操作を防止しています。



走行時

アウトリガ・クレーン作業時

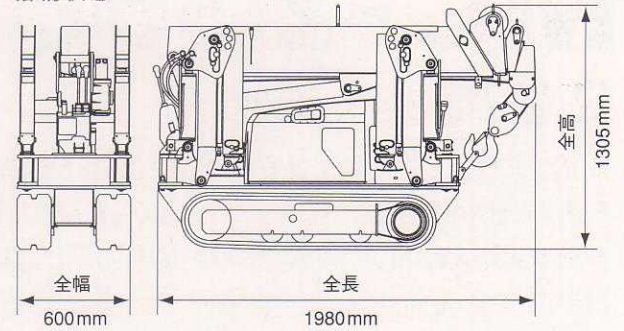
■ アウトリガ操作パネル

アウトリガ操作は、スイッチタイプを採用。レバーによるクレーン操作との明確な差別化により、誤操作を防止しています。



SPECIFICATIONS

格納状態



主要諸元

クレーン容量	0.995 t × 1.1 m
最大作業半径	5.10 m
最大地上揚程	5.50 m
巻上装置	フック巻上速度 4.0 m/min (3層4本掛) ワイヤロープ仕様 φ6 mm × 39 m
伸縮装置	ブーム形式 5角形全自動4段(2~4段同時伸縮) ブーム長さ 1.85 m ~ 3.00 m ~ 4.15 m ~ 5.30 m ブーム伸長ストローク/伸縮時間 3.45 m / 16 sec
起伏装置	ブーム角度/起時間 0° ~ 75° / 9 sec
旋回装置	旋回角度/旋回時間 360° 連続 / 38 sec
アウトリガ	アウトリガ方式 1段屈折ステータン(付)、2段手動引出、油圧シリンダ直挿式 最大張出幅 (左右) 3400 mm × (前) 3300 mm × (後) 2785 mm
走行装置	走行方式 油圧モータ駆動無段変速 走行速度 0 ~ 2.4 km/h 登坂能力 20° クローラ接地長 × 幅 1044 mm × 180 mm 接地圧 28.4 kpa [0.29 kgf/cm ²]
原動機	型式 ヤンマー GA300SECMS1 排気量 0.296 l [296 cc] 連続定格出力 5.7 kw / 1800 min ⁻¹ [7.8 PS / 1800 rpm] 始動方式 セルモータ及びリコイルスタータ式 使用燃料/燃料タンク容量 無鉛ガソリン / 6.0 l
油圧	油圧ポンプ仕様/タンク容量 可変ピストンポンプ 8.6 cc / rev × 2 / 20 l
遠隔制御装置	ラジコン形式 特定小電力、40波オートスキャン 微速モード 比例流量制御 & エンジンスロットル制御 ラジコンでのアウトリガ操作 可 (エンジンの始動・停止もラジコンにて可)
全長(ブーム除く) × 全幅 × 全高	1980 (1580) mm × 600 mm × 1305 mm
全体質量	1050 kg

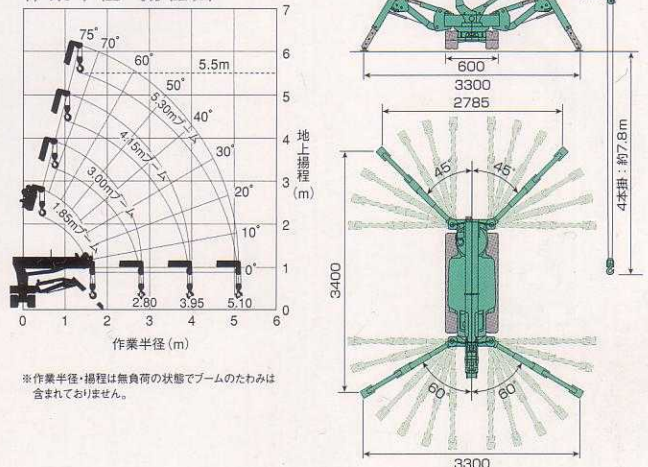
※単位は国際単位系によるSI単位表示。[]内は従来の単位表示を併記したものです。

定格総荷重表(アウトリガ最大張出時)

1.85mブーム		3.00mブーム		4.15mブーム		5.30mブーム	
作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)
1.1以下	995	1.1以下	995	1.8以下	820	2.4以下	650
1.3	980	1.3	980	2.0	750	2.5	620
1.5	890	1.5	890	2.5	620	2.8	550
1.65	790	2.0	750	2.8	550	3.0	500
		2.5	620	3.0	500	3.5	380
		2.8	550	3.5	380	4.0	300
				3.95	300	4.5	250
						5.1	200

※上記表は、水平堅土上の値です。アウトリガの設置状態・地面の状態等により転倒することもありますので十分注意してください。
 ※定格総荷重表は負荷時のたわみの含んだ実際の作業半径にもとづいています。
 ※アウトリガの張出状態及び張り具合によっては定格総荷重を吊り上げると転倒する場合がありますので注意してください。
 ※定格総荷重はフックブロック(15kg)の重量を含んだ重量を示します。

作業半径・揚程図



※作業半径・揚程は無負荷の状態でのたわみは含まれておりません。